

2009年度組織学会研究発表大会プログラム

第1日目 6月6日(土) 【大学院生セッション】 【研究発表セッション】 【テーマセッション】						
会場	会場A (1階)	会場B (1階)	会場C (3階)	会場D (3階)	会場E (3階)	会場F (3階)
【大学院生セッション1】						
セッション						【テーマセッション1】
司会	佐々木利廣(京都産業大学)	三品和広(神戸大学)	古川久敬(九州大学)	山田仁一郎(香川大学)	島本実(一橋大学)	10:00-12:00
9:50-10:10	[A1] NPOにおける理事兼任の探索的研究(野口寛樹: 京都大学)	[B1] 病院の業績格差要因について-日本赤十字93病院間の業績格差要因の考察-(羽田明浩: 立教大学)	[C1] 企業統合における品質文化の同化とその効果の事例(伊藤敏: 東京工業大学)	[D1] One Tambon One Product Movement in Thailand -Case Study of Bangplub Village-(カムボンカンチャナ・カナボン: 東北大学)	[E1] 企業の境界の決定要因: 半導体生産における統合と分業(小松茂彦・大湾秀雄: 青山学院大学)	[F1] 複合競争による市場創造のダイナミズム: 3つの複合競争事例より(栗木梨: 神戸大学、水越康介: 首都大学東京、吉田満梨: 神戸大学、田中彰: 朝日放送)
10:10-10:30	[A2] 日本における社長人選システムについての研究(鈴木麻里: 東京工業大学)	[B2] 成熟産業における新規参入戦略: 新設大学の事例分析(土橋力也: 名古屋大学)	[C2] 複数アイデンティティへの選択的対応-損害サービス部門の事例(佐藤秀典: 東京大学)	[D2] ソーシャル・ベンチャーの成功要因-外部環境と組織マネジメントの観点から考察-(田原慎介: 慶応義塾大学)	[E2] 研究開発と社会関係資本-医薬品企業の事例分析(中本龍市: 京都大学)	
10:30-10:50	[A3] 経営者交代をめぐる政治的プロセスと戦略形成への影響メカニズム(大倉健: 一橋大学)	[B3] 変革期の政策金融機関における経営戦略に関する一考察-(伊藤慎時: 東北大学)	[C3] 両立政策利用行動と心理的契約の再構築(林有珍: 一橋大学)	[D3] わが国の中小製造業者のイノベーション創出(久保田典男: 横浜国立大学)	[E3] 制度化における物質性の役割: マザーマンシンの技術戦略(木佐森健司: 神戸大学、鈴木信貴: 京都大学)	
【大学院生セッション2】						
司会	福島英史(法政大学)	周佐喜和(横浜国立大学)	浅川和宏(慶応義塾大学)	蔡イン錫(専修大学)	金泰旭(広島市立大学)	
11:00-11:20	[A4] 住宅メーカーのサービス化による収益性向上の実証研究(石尾和哉: 京都大学)	[B4] 日本企業の海外子会社マネジメントに関する考察: 海外派遣社員に関する定量的調査(大木清弘: 東京大学)	[C4] ペットの商品としての位置づけ(岩倉由貴: 東北大学)	[D4] IT企業における人的資源開発のアクションリサーチ: 変化を把握し、理解し、促進する(伊達洋暲: 神戸大学)	[E4] 階層のないコーディネーション: ウィキペディアの組織メカニズム(積田淳史: 一橋大学)	
11:20-11:40	[A5] 顧客の先取りから生まれる先行企業の脆弱性(久保田達也: 一橋大学)	[B5] 多国籍企業における海外派遣後の帰任者適応-組織社会化の視点による検証-(内藤陽子: 北海道大学)	[C5] 電力経営におけるフェア・プロセスに関する研究(阿部純: 東北大学)	[D5] 職場で創意工夫することを通じた動機づけの自己調整-ジョブ・クラフトモデルの実証的検討-(森永雄太: 神戸大学)	[E5] コンピュータ・ソフトウェアのプラットフォーム戦略における階層間施策の考察(加藤和彦: 早稲田大学)	
11:40-12:00	[A6] 複数顧客のニーズに対応する製品市場戦略-特殊化と普遍化のマネジメント-(伊藤誠悟: 一橋大学)	[B6] 多国籍企業のグローバル製品開発: 製品特性による開発立地の収斂(金照珍: 東京大学)	[C6] 戦略的提携における競争的な学習の意義(城間康文: 兵庫県立大学)	[D6] ビジネス・ユニット長の職務経験と職務遂行能力の関係に関する探索的研究(佐藤祐樹: 一橋大学)	[E6] 製品開発における二つのモード-ヘッド指向とリリース指向-(八田真行: 東京大学)	
昼休み (12:00~13:00)						
【大学院生セッション3】						
司会	塩草喜代明(九州大学)	天野倫文(東京大学)	田中政光(横浜国立大学)	生稲史彦(文京学院大学)	米山茂美(武蔵大学)	
13:00-13:20	[A7] 半導体産業-液晶産業間における技術伝播に関する一考察(児玉洋一: 東京工業大学)	[B7] 群衆調達が製品開発に与える影響: 出版産業の事例(高郁慧: 神戸大学)	[C7] 戦略的実践の理解の可能性: プロセスとしての戦略論と実践としての戦略論をこえて(今井希: 神戸大学)	[D7] デザイン産学連携-矛盾に対処するためのマネジメント-(菅野洋介: 東北大学)	[E7] 大規模多角化企業の事業再編-東芝と日立製作所を事例として-(尾田基: 一橋大学)	
13:20-13:40	[A8] 車載半導体の製品開発における産業間コラボレーションの阻害要因(竹内寛爾: 東京工業大学)	[B8] 中国に進出している日系多国籍企業のプレセンス決定要因分析-現地高度人材獲得のための組織・戦略について-(渡邊万里子: 慶応義塾大学)	[C8] 利害のマネジメントを通じた制度変化(浦野洋洋: 神戸大学)	[D8] 製品カテゴリの社会的形成-健康茶飲料の事例研究(宮尾学: 神戸大学)	[E8] 「イノベーションと環境適応」-製品アーキテクチャと市場ニーズの性質からの考察-(横田靖之: 慶応義塾大学)	
13:40-14:00	[A9] R&D組織の形態と技術開発プロセス-セラミックコンデンサ業界を事例として(小阪玄次郎: 一橋大学)	[B9] 海外進出における外部知見の活用: プロセスと特性(竹下浩: 青山学院大学)	[C9] プロジェクトとコンテキストの関係性の再考: 映像コンテンツ製作の事例分析(伊藤智明: 神戸大学)	[D9] プロジェクトとコンテキストの関係性の再考: 映像コンテンツ製作の事例分析(伊藤智明: 神戸大学)	[E9] 組織分離と制作における統合(一小路武安: 東京大学)	
【研究発表セッション1】						
司会	山倉健嗣(横浜国立大学)	榎原清則(慶応義塾大学)	岸田民樹(名古屋大学)	金井壽宏(神戸大学)	藤本昌代(同志社大学)	【テーマセッション2】
14:10-14:50	[A10] 日本映画の制作提携における凝集的な企業間ネットワークと興行業績-2000年代の制作委員会ネットワーク分析-(山下勝: 青山学院大学、若林直樹: 中本龍市: 京都大学)	[B10] 垂直統合における専門性と柔軟性(石井圭介: 日本福祉大学)	[C10] ヒューマンエラーが犯罪と想定された場合-フーコー理論が組織学習で定着する悲劇-(築達延征: 広島大学)	[D10] HRMが企業内の社会関係資本形成に与える影響(西村孝史: 徳島大学)	[E10] 組織フィールドと地域コンテキスト(稲垣京輔: 横浜市立大学、高橋勲徳: 滋賀大学)	[F2] 地域イノベーションと社会起業家(福岡路・権奇哲: 東北大学、佐々木和夫: 定禅寺ストリートジャズフェスティバル実行委員会委員長)
14:50-15:30	[A11] 企業間取引関係と組織への帰属意識の国際比較(下野由貴: 市立尾道大学、高瑞紅: 静岡県立大学)	[B11] 製菓企業の企業レベルにおける研究開発効率性の分析(宮重徹也: 富山商船高等専門学校、藤井敦: 北九州市立大学)	[C11] 大学経営の研究領域に関するエスノグラフィ-大学経営研究に空白領域が出現することの意味とメカニズム(平塚力: 福島工業高等専門学校)	[D11] 外資系中国人ホワイトカラーの組織間キャリア志向(李超: 大阪市立大学)	[E11] 地産地消の戦略転換への進化的アプローチ(近藤弘毅: 目白大学)	
15:30-16:10	[A12] 組織資産-能力がビジネスコンテンツ活用および影響の定量的分析(松野将宏・七丈直弘・小関珠音: 東京大学)	[B12] なぜ新薬の市場規模予測はしばしば大きく外れるのか? ~医薬開発現場における市場規模予測の背後に潜む論理の追究~(石原正彦: 東京理科大学)	[C12] 介護ワークチームの自律性とQWLの関係: 従来型とユニット型の多母集団分析(山口生史: 明治大学)	[D12] 組織におけるミドル及びパワーの影響力についての探求(村上善紀・加藤俊彦: 一橋大学)	[E12] 規模縮小過程にある産業集積における分業システムの容容と環境変化への適応~大田区の最近の10年間の動きを事例として~(額田春華: せらね地域経済研究所、首藤聡一郎: 麗澤大学、岸本太一: 東京大学)	
16:30-18:20	評議員選挙・高宮賞授賞式・総会 (会場: 白樺1・2)					
18:50-20:40	懇親会 (会場: 仙台エクセルホテル東急)					
第2日目 6月7日(日) 午前: 【特別講演】 【高宮賞受賞セッション】 午後: 【研究発表セッション】 【テーマセッション】						
【特別講演】 作家・瀬名秀明 「違和感が創造を生み出す『境界知』のダイナミズム」 (会場: 白樺1・2)						
【高宮賞受賞セッション】 (会場: 白樺1・2)						
昼休み (12:00~12:50)						
会場	会場A (1階)	会場B (1階)	会場C (3階)	会場D (3階)	会場E (3階)	会場F (3階)
【研究発表セッション2】						
セッション						【テーマセッション3】
司会	加藤俊彦(一橋大学)	高瀬武典(関西大学)	太田肇(同志社大学)	武石彰(京都大学)	藤本隆宏(東京大学)	
12:50-13:30	[A13] 複雑性および不確実性と組織内調和(大湾秀雄: 青山学院大学)	[B13] 伝統・革新の価値融合と「地域ブランド」のビジネスシステム~サムライ日本プロジェクトの事例(池澤威郎: (株)JR東海高島屋、安藤竜二: (株)DDR)	[C13] 日本人移住者の組織形成・維持運動に関する研究-南米ボリビア国における事例から(浅野茂: 神戸大学)	[D13] 技術プラットフォーム領域の企業間分業へのインパクト: 携帯電話端末開発プロセスの企業間分業に関する比較検討(安本雅典、横浜国立大学)	[E13] ファブレス半導体ベンチャー企業の成功を生み出す新水平分業化モデルの考察(永井明彦・田辺孝二: 東京工業大学)	[F3] 意味的価値創造の製品開発マネジメント(延岡健太郎: 一橋大学、長内厚・松本陽一・中村健太: 神戸大学、神吉直人: 香川大学)
13:30-14:10	[A14] 株式会社組織理論(清水剛: 東京大学)	[B14] アート・プロジェクトによる中山間地域の活性化: 越後妻有アートリエンナーレの事例分析(山田仁一郎・松岡久美: 香川大学)	[C14] 職場の学習風土に関する定量的研究(松尾睦: 神戸大学、中原淳: 東京大学)	[D14] 資源管理戦略-国際間にまたがる製品開発マネジメント(伊藤彦彦: 神戸大学)	[E14] コロケーションの効果と逆機能-日産自動車における研究開発機能の分離と集約(真鍋誠司: 横浜国立大学)	
14:10-14:50	[A15] 中核技術を保有しない企業の戦略に関する研究(山崎喜代宏: 中京大学)	[B15] 起業家活動と地域開発-山形県庄内地域の起業家5人の事例研究(石田英夫: 東北公益文科大学)	[C15] 組織における文化的多様性と企業成果との関連、及びその負の側面(咲川孝: 新潟大学)	[D15] 製品アーキテクチャーへの組織適合: 大規模サンプルによる実証分析(中川功一: 駒澤大学、勝又壮太郎: 東京大学)	[E15] 研究組織における規模と生産性の相関分析と経営への示唆-機能型かプロジェクト型か-(河尻耕太郎: (独)産業技術総合研究所)	
【研究発表セッション3】						
司会	加藤厚海(広島大学)	沼上幹(一橋大学)		新宅純二郎(東京大学)	青島矢一(一橋大学)	【テーマセッション4】
15:00-15:40	[A16] 産地の危機対応と会社制度-有田焼産地と京焼産地の比較分析-(柴田淳郎: LEC東京リーガルマインド大学)	[B16] 日本企業のデザイン・マネジメント-大規模特許・意匠データを用いた分析(松本陽一・中村健太: 神戸大学)		[D16] リテール金融サービスにおける競争戦略(西尾弘一: 筑波大学)	[E16] 技術革新を伴う新製品の企画段階におけるプロジェクトリーダーの役割(櫻井敬三: 日本大学)	[F4] ハイテク・スタートアップと起業インフラシステム(田路則子: 法政大学、新藤晴臣: 露木恵美子: 明星大学、鹿住倫世: 高千穂大学、金泰旭: 広島市立大学、五十嵐伸吾: 九州大学)
15:40-16:20	[A17] 老舗企業における長期存続プロセスのダイナミズム: 八丁味噌と岡崎地域をめぐる経時的分析(加藤敬太: 大阪大学)	[B17] ネットに求めるつながりの強さ-韓国ネットユーザーの意識調査から(竹田陽子: 横浜国立大学)		[D17] セル生産とライン生産における業績評価スキームの相違(小沢浩: 名古屋大学)	[E17] トランスフォーマー仮説の再検討-ネットワークデータを用いた知識変換の定量化の試み-(犬塚篤: 東京大学)	
16:20-17:00	[A18] 産業集積と市場の関係性~鯖江眼鏡産地産業集積に対する市場からのアプローチ(秋庭太: 日本福祉大学)	[B18] 論文データベースの経営戦略への応用に関する研究(品川啓介・廣川秀児・武藤康永: キヤノンマーケティングジャパン(株))		[D18] 階層的な契約関係におけるプロジェクトの効率性について(事例研究)-企業間契約における組織行動の一考察(小嶋甲子雄: (株)東京自働機械製作所)	[E18] 研究開発チームにおけるシェアード・リーダーシップ: フォーマル・リーダーおよびチーム業績との関係(石川淳: 立教大学)	